

## 連絡先

TEL 0853-20-2075

FAX 0853-20-2027

ホームページアドレス <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/domi/index.htm>

## 医療情報部の専門分野

大学病院における医療情報の管理・統合  
医療情報システム及び情報流通基盤の開発と運用

## 業務内容

### 医療情報部の役割

大学病院において、医療情報とは意思決定に必要な知識という意味であり、医療情報システムとは意思決定に必要な知識を蓄積し、その知識を迅速に検索・表示できるシステムの事をさしています。医療情報部は、この医療情報を管理・統合する部門です。

当院はプライバシーマークを取得していますので、病院が持つ患者情報の保護や利用に関する企画、医療情報システムに関するセキュリティ管理や電子診療録における医療情報のあり方に関する企画・運用も行っています。

### 医療情報部が行うシステムの開発と運用

医療情報部は、主として、以下のシステムの開発と運用を行っています。

- (1) 大学附属病院における診療部門に関するすべての業務データを蓄積し、日々の診療を支援する医療情報システムの開発・運用
- (2) 大学附属病院における医事会計部門に関するすべての業務データの蓄積と運用
- (3) 地域医療連携センターと共同で、地域医療機関との連携を図る地域医療情報ネットワークシステムの開発と運用

### 島根大学医学部附属病院の医療情報システム

法人化後の国立大学病院は、健全な病院経営と地域に開かれた先進医療の推進の両立という大きな役割を課せられています。医療情報部は、これらの役割を担うべく、平成18年9月に電子カルテ（電子診療録）を稼動し、その後のシステム更新とバージョンアップにより、平成15年10月稼動の無線LANを利用した院内ユビキタス環境の構築とあいまって、世界的にも先進的といえる情報流通基盤を構築しました。新病院においても、無線LANと公衆PHS網を中心にデータと音声の両面でユビキタス環境を整え、RF-ICタグの活用も視野に、効率的かつ即時に確実な医療情報の伝播と共有を実現しています。

さらに我々は以下の機能を拡充すべく活動を行っています。

- (1) 診療記録や指示の正確な入力と伝達を助けるシステムの構築と実装
- (2) 各診療科・診療部門が蓄積したデータを、臨床医学の研究・教育に活用でき、臨床にあってはEBMを実践できる形に変換できる情報系データベースの構築と実装
- (3) 診療データと医事会計データの融合により、病院の経営改善のための意思決定に必要なデータを即時に抽出できる経営分析システムの開発
- (4) 上記3システムと連携した地域医療情報システムの構築  
地域の医療機関との間で必要な患者情報を交換し、より密接な関係を持って医療を効率的かつ効果的に進めるためのシステムの構築



部長(医療情報学教授)

**津本 周作**

### 専門分野

人工知能、医療情報学

## 副部長プロフィール



副部長(准教授)

**花田 英輔**

### 専門分野

医療情報学、情報工学、病院管理学